

令和 7 年 6 月 26 日（木）

令和 7 年度 第 1 回

「横浜市地域公共交通会議運賃分科会」

次 第

議題

議題 1

金沢区富岡西地区における地域交通の取組について

議題 2

四季めぐり号における回数券（IC カード）の実施期間について

令和 7 年度第 1 回「横浜市地域公共交通会議運賃分科会」委員名簿

職 名	氏 名
公募市民	小田部 明人
公募市民	宮本 幸司 (欠席)
学識経験者 東京大学大学院 特任教授	中村 文彦
国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	森下 文章 (代理：山崎)
一般乗合旅客自動車運送事業者	京急文庫タクシー株式会社
一般乗合旅客自動車運送事業者	ヒノデ第一交通株式会社
(座長) 横浜市都市整備局交通政策部 地域交通推進担当部長	石井 高幸

令和7年度第1回「横浜市地域公共交通会議 運賃分科会」	
日 時	令和7年6月26日(木) 11時20分から11時45分まで
場 所	横浜市役所 18階みなと6・7会議室
開催形態	公開(傍聴：0名)
議 題	議題1 金沢区富岡西地区における地域交通の取組について 議題2 四季めぐり号における回数券（ICカード）の実施期間について
議 事	(※本議事概要内では敬称略) 【議題1】金沢区富岡西地区における地域交通の取組について ■東京大学大学院 特任教授 ご意見 ・実証実験で運賃を200円とした理由を教えてください。 ・今回、運賃を200円から300円に引き上げているが、利用者にどのように理解を求めたのかが気になる。値上げによって利用者が減少する可能性もあるため、収入（運賃×利用者）への影響をどのようにシミュレーションしたのか教えてください。 ・頻繁に運賃変更をすることは望ましくないが、想定と違うことが起きた場合は、利用状況を追跡しながら、柔軟に対応をしてほしい。なお、想定より利用者が少ないから値上げをするという発想は好ましくなく、むしろ運賃を下げて利用者数を増やすことも検討すべきである。机上の検討だけでなく、利用者数のデータを収集しながら運行計画に反映して行ってほしい。 ◆運行事業者(京急電鉄株式会社) 回答 ・実証実験での運賃200円は、実験開始前に実施したアンケート結果と事業の採算性を考慮して設定をしたものである。 ・今回の300円の設定については、「とみおかーと共創推進協議会」において、地域住民や商店などと協議を行った上で決定した。検討の過程では「100円」「200円」といった意見もあったが、収支シミュレーションを実施し、協賛金獲得に伴う負担感なども考慮して設定した。 ・運行計画変更が必要となった場合には、いただいた意見を参考にしながら、協議会で議論を行う。 【議題2】四季めぐり号における回数券（ICカード）の実施期間について ■市民委員 ご意見 ・今後、11回3000円のICカードは、9月以降に廃止されるという認識で良いか。また、それに対する地域の反応があったか教えてください。 ◆事務局 回答 ・1回分がお得となる回数券ICカードは、8月末で運用を終了する。ICカード自体は、9月以降も10回3000円として販売し、チャージも可能となる。

- ・地域にはリーフレット等を配布して周知し、定例会でも説明を行っているが、反対意見は特に寄せられていない。

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・割引を導入する際は、「なぜ割引をするのか」、終了する際には「なぜやめるのか」という理由を丁寧に説明し、理解を求めることが本来の筋であると感じる。一般的には、金額が上がる際には、何らかの意見が出ることが多い。おそらく、この地域の住民は、四季めぐり号を大切にしており、ある程度の運賃を支払うことを当然と考えているのかもしれないが、そうした意見が出ていないことは気になる。

◆事務局 回答

- ・地域の代表者との定例会では、「割引は継続的なものでなく、期間限定とした方が良い」という意見が出ている。

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・そのような意見が非常に重要であると感じる。今後、他地域で同様の取組を行う際の参考となるよう、今回の経緯や地域の反応を記録として残しておくことが望ましい。